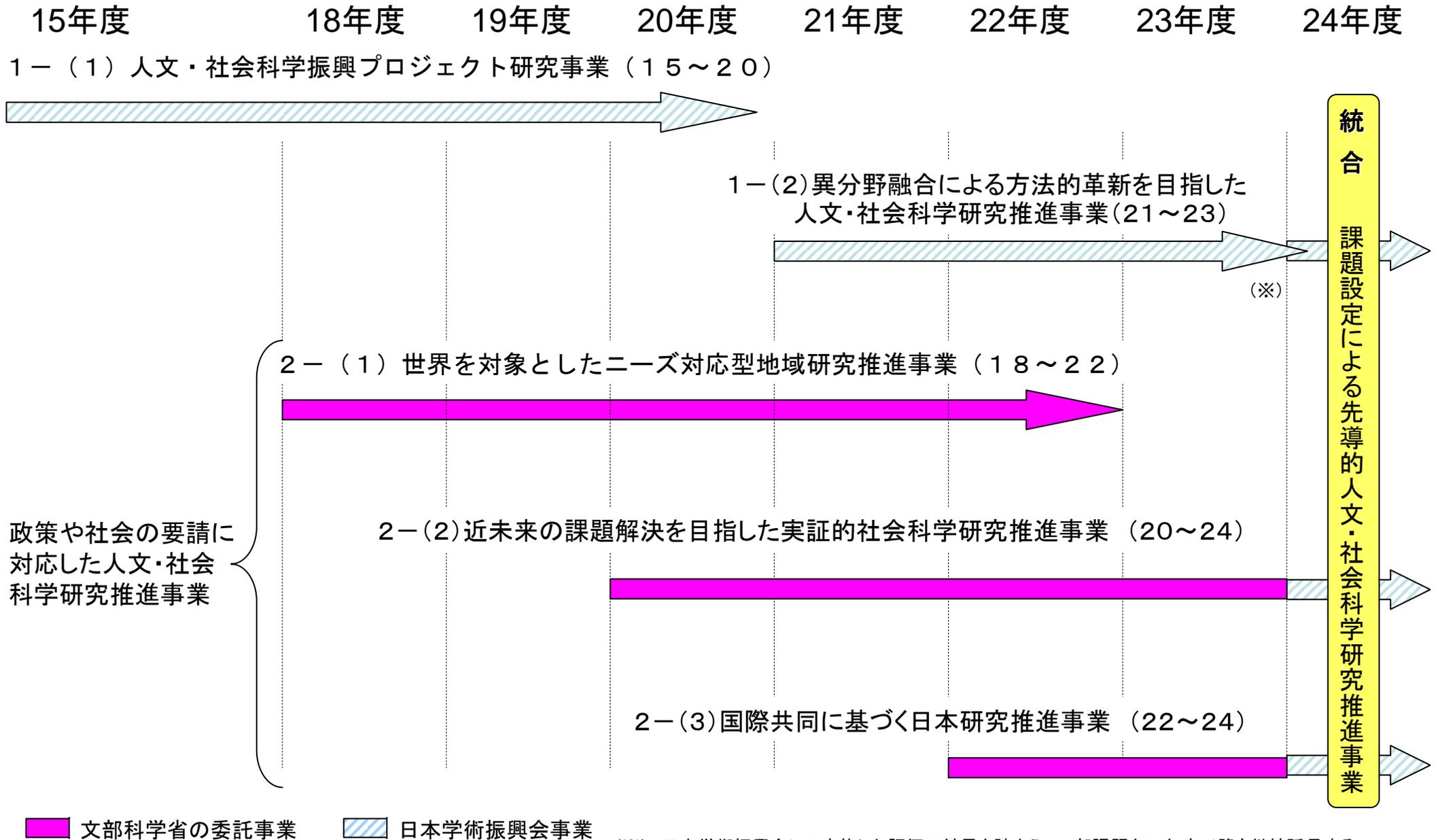


人文学・社会科学における課題設定型研究推進事業

参考資料2
科学技術・学術審議会 学術分科会
人文学及び社会科学の振興に関する委員会
(第6期第7回)
H24.4.19



(※) 日本学術振興会にて実施した評価の結果を踏まえ、一部課題を24年度以降も継続延長する。

人文・社会科学分野における課題設定型の研究推進事業の仕組み(1)
事業の趣旨・目的

	1-(1)	1-(2)	2-(1)	2-(2)	2-(3)
	人文・社会科学振興プロジェクト研究事業(平成15～20年度)	異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学推進事業(平成21年度～)	世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業(平成18～22年度)	近未来の課題解決を目指した実証的科学研究推進事業(平成20年度～) ●競争的資金	国際共同に基づく日本研究推進事業(平成22年度～) ●23年度より競争的資金
事業の目的・期待する研究課題等	○ 本事業は、グローバル化、情報化が進む中、特に民族、宗教、精神生活、社会規範や制度をめぐる問題など、 <u>現代社会において人類が直面している問題の解明と対処のため、人文・社会科学を中心とした各分野の研究者が協働して、学際的・学融合的に取り組む「課題設定型プロジェクト研究」を推進するとともに、その成果を社会への提言として発信することを目的とする。</u>	○ 既存の学問・研究分野にとらわれずに、 <u>異なる分野の知見や方法論を取り入れた人文・社会科学における「異分野融合型共同研究」を推進することにより、人文・社会科学の新たな展開と発展に資することを目指す。</u> ○ 本事業では、異なる学問・研究分野の知見や方法論を取り入れ、人文・社会科学の研究者が異分野の研究者と連携して実施する異分野融合型研究を実施。	○ 我が国との関係で重要な地域について、現在の政治、経済、社会制度等とその背景となる思想、文化、歴史等との関係など、 <u>今後我が国が人的交流や国際貢献を進めるために必要な政策的・社会的ニーズに基づくプロジェクト研究を実施し、その成果を社会に還元することにより、日本と地域との間の交流や協力が一層促進され、日本とこれらの地域との「協働」、「相互理解」さらには「共生」に資することを目的とする。</u> ○ 本事業では、学術的な水準が高いだけでなく、 <u>研究の対象とする地域において活動する日本人(企業の駐在員やNGO関係者)のニーズ</u> あるいは日本政府の外交政策や通商政策、地方公共団体の国際交流政策といった <u>政策的なニーズを踏まえた研究課題が提案されることを期待。</u>	○ 近未来において我が国が直面する経済的、社会的な諸課題の解決に向け、 <u>様々な機関等により集積されたデータを活用した経済・社会の分析など、実証的な研究方法に基づくとともに、その研究成果を課題解決のための選択肢として社会へ発信することを目指した社会科学のプロジェクト研究を実施することにより、「経済・社会の活性化」と「社会の安全・安心」の両立を視野に入れた「国民の生活と福祉の向上」に資することを目的とする。</u> ○ 本事業では、①学術的な水準の高さに加え、近未来において我が国が直面する具体的な課題の解決を志向するとともに、②思弁的ではなく、 <u>実証的な研究方法を使用した研究課題が提案されることを期待。</u>	○ 我が国の人文・社会科学研究においては、国際化の促進が課題となっているが、中でも「日本研究」については、グローバル化の潮流の中で、アジア研究の一部として扱われるなど地盤沈下が著しい状況であり、 <u>諸外国における日本理解の基盤である「日本研究」の機会を確保する観点からも、国際共同研究を通じた「日本研究」を推進する必要がある。</u> ○ 本事業は、海外に存在する「日本」に関係する様々な資源を活用した「日本研究」の国際共同研究を推進することにより、 <u>新たな知見の発掘による日本研究の進展、国際ネットワークの構築等による日本研究の活性化国際ネットワークの活用による日本研究の持続的発展</u> とともに、我が国の <u>人文・社会科学研究の国際化の促進に資することを目指す。</u>

人文・社会科学分野における課題設定型の研究推進事業の仕組み(1)
設定した研究領域等

	1-(1)	1-(2)	2-(1)	2-(2)	2-(3)
	人文・社会科学振興プロジェクト研究事業(平成15～20年度)	異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学推進事業(平成21年度～)	世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業(平成18～22年度)	近未来の課題解決を目指した実証的社会科学推進事業(平成20年度～) ●競争的資金	国際共同に基づく日本研究推進事業(平成22年度～) ●23年度より競争的資金
設定した研究領域・要件等	<ul style="list-style-type: none"> ○知の遺産を始めとする日本の在り方と今後の変容について研究する領域 ○グローバル化時代における多様な価値観を持つ社会の共生を図るシステムについて研究する領域 ○科学技術や市場経済等の急速な発展や変化に対応した社会倫理システムの在り方について研究する領域 ○過去から現在にわたる社会システムに学び、将来に向けた社会の持続的発展の確保について研究する領域 ○現代社会における言語・芸術・芸能表現の意義と可能性について研究する領域 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究対象に関して、多分野が連携して課題の設定や方法論に継続的に改良を加えることが、予想外の飛躍をもたらす研究領域 ○対象の研究分野に関して、通常は近いと考えられていない領域との連携によって、ブレイクスルーを可能にする研究領域 	<ul style="list-style-type: none"> ○中東、東南アジア・日本と諸地域との関係性の解明ー協働に向けてー・地域のアイデンティティの解明ー相互理解を深めるためにー ○中央アジア、南アジア・グローバルイシューに対応した新たな地域研究の可能性の探索 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな経済活力を生む社会経済制度の設計 ○生活の豊かさを生む新しい雇用システムの設計 	<ul style="list-style-type: none"> ○海外に存在する日本に関する文化資源(美術品、文献、芸能など)を対象とする国際共同研究 ○「日本」を対象として行う海外の研究者との共同研究
新規公募等	<p>公募なし</p> <p>各領域に3～4プロジェクト設定し、各プロジェクトに、2～3件の研究グループを設定(全17プロジェクト、40課題)</p> <p>研究期間:5年間</p>	<p>新規公募1回(21年度)</p> <p>要件を満たす課題を公募し13課題を選定(うち2課題は課題設定型)</p> <p>研究期間:原則として3年間。評価により2年程度の延長を予定。</p> <hr/> <p>24年度予定額 60百万円</p>	<p>新規公募2回(18、19年度)</p> <p>各地域×領域ごとに公募し、各1～2課題を選定(全10課題)</p> <p>研究期間:5年間</p>	<p>新規公募1回(20年度)</p> <p>領域ごとに公募し、各2課題を選定(全4課題)</p> <p>研究期間:5年間</p> <hr/> <p>24年度予定額 138百万円</p>	<p>新規公募1回(20年度)</p> <p>領域ごとに公募し、各2課題を選定(全4課題)</p> <p>研究期間:5年間</p>